

第96回日本細菌学会総会

総会長 飯田 哲也（大阪大学微生物病研究所 教授）

会期：令和5年3月16日（木）- 18日（土）

会場：アクリエひめじ

シンポジウム・ワークショップ企画の公募について

第96回日本細菌学会総会のシンポジウム・ワークショップの企画提案を以下の要領で公募いたしますので、是非企画をご検討ください。若手研究者からの企画も歓迎いたしますので、細菌学の広い分野からの企画を奮ってご応募下さい。

■注意事項

- ①学会企画（「中・高校生の研究発表セッション」）・総会長企画を除く、全ての公募企画については同一人物がコンビナーを複数企画で担当することはできません。必ずコンビナー/オーガナイザーは1企画のみでご担当になるように調整して申請して下さい。
- ②既に決定している総会長企画（資料1を参照）とは重複がないようにご配慮ください。
- ③なお公募企画の選考に際しましては、資料1の（2）にある研究領域区分と照らし、採択企画ができるだけ特定区分に大きく偏らないよう配慮をさせていただきます。

■開催形式

基本的には現地開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、オンライン参加も可能なハイブリッド形式に変更する可能性もあります。

公募企画の種類

【シンポジウム・ワークショップ】

依頼講演からなる、1テーマ2時間30分のシンポジウム企画枠を16枠と1テーマ2時間のワークショップ企画枠を12枠（学会本部としての企画【枠数未定】ならびに一般演題からの選抜ワークショップ4～5枠を含むので予めご了承下さい）を設定しております。

企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム等企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビナー（提案者）にお知らせいたします。採択された企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、総会長もしくはシンポジウム等企画調整委員会から調整・変更等をお願いする場合がありますことをご理解ください。

応募方法

別紙の回答書にご記入の上、日本細菌学会事務局までE-mail (gakkai23@kokuhoken.or.jp)にてご提案下さい。また応募される内容については資料1を参考にして下さい。

提案締切 ~~2022年7月4日（月）~~ **2022年7月21日（木）**

第96回日本細菌学会総会の学術企画の提案に際して

(1) 総会長企画としまして、以下の企画を開催することを予定しております。
シンポジウム/WSの提案に際しまして、重複のないようにご配慮下さい。

・特別講演：John J. Mekalanos (Harvard Medical School)

・シンポジウム1：「最先端手法を用いた微生物・感染症研究（仮題）」

概要：微生物・感染症の領域で、最先端の解析方法やアプローチを用いて目覚ましい研究を
されている先生方をお招きしてご講演いただく。

予定演者

大阪公立大学	宮田 真人 先生
筑波大学	野村 暢彦 先生
和歌山県立医科大学	佐藤 慎太郎 先生
大阪大学	松岡 悠美 先生

・シンポジウム2：「大型グループ研究プロジェクトの推進（仮題）」

概要：近年、大型のグループグラントで細菌学会関係者が中心となったものは数少ない。
今後、細菌学会の関係者が大型グラントを目指すための道標として、微生物学や
感染症学の関連領域でムーンショットや学術変革、新学術領域等、大型のグループ
研究プロジェクトを推進されている先生方に、プロジェクトの内容や研究成果に
ついてご紹介いただくとともに、プロジェクトを立ち上げるに至った経緯等について
お話しいただく。

予定演者

東北大学 南澤 究 先生
(ムーンショット「微生物による地球冷却 資源循環の最適化による農地由来の
温室効果ガスの排出削減」)

大阪大学 松浦 善治 先生
(ムーンショット「ウイルス-人体相互作用ネットワークの理解と制御」)

筑波大学 高谷 直樹 先生
(新学術領域「超地球生命体を解き明かすポストコッホ機能生態学」)

(2) また本年度の総会におきましては研究領域区分を、以下のように設定しております。
学術企画を考える上で、ご参考にして頂けますようお願い申し上げます。

1. 分類・疫学・感染症
2. 生態
3. 生理・構造
4. 遺伝・ゲノミクス・バイオテクノロジー
5. 病原性
6. 生体防御
7. 抗菌性物質・薬剤耐性
8. その他